

## 目次

### 学修関連

- 提言 2-1 アントレプレナーシップ科目の拡充.....2
- 提言 2-2 大学院での英語開講科目受講に向けた、学士課程での英語能力向上を目的としたカリキュラムの設置と英語科目のカリキュラム改善 .....3
- 提言 2-3 他キャンパスで開講されている授業をより履修しやすくするための環境整備 4

### 施設関連

- 提言 3-1 生協食堂の価格およびメニューに関する要望 .....4
- 提言 3-2 大岡山キャンパスのキッチンカーの配置変更 .....5
- 提言 3-3 体育館アリーナにおけるエアコンの設置.....6
- 提言 3-4 飲料水確保のための給水機設置 .....6
- 提言 3-5 フリースペースの周知、拡充.....7
- 提言 3-6 田町キャンパスの環境改善 .....7
- 提言 3-7 生協の営業時間の延長.....8
- 提言 3-8 夏季の大岡山図書館学習棟の利用に向けた情報公開および 対策立案 .....8
- 提言 3-9 学内図書施設の連携促進と貸出・返却・検索システムの統合 .....8

### サービス関連

- 提言 4-1 理工学系全構成員を対象としたハラスメント研修プログラム強化.....9
- 提言 4-2 留学に関する現状と促進のための提言 .....10
- 提言 4-3 公欠制度の改善.....12
- 提言 4-4 教育システムの改善要求 .....13
- 提言 4-5 Slack を活用した新入生向け相談窓口の設置 .....14
- 提言 4-6 防災訓練の参加促進 .....15

### DE&I 関連

- 提言 5-1 DE&I に関する講義の必修化 .....16
- 提言 5-2 対象者を拡大したリフレッシュスペースの設置.....16
- 提言 5-3 入試改革目標の明確化.....17

### その他

- 提言 6-1 「すずかけ」名称の継続的な使用 .....18
- 提言 6-2 大学執行部との対話機会の設置 .....19

## 学勢調査 2024 大学の対応

### 提言 2-1 アントレプレナーシップ科目の拡充

#### 提言

1. アントレプレナーシップ科目の多様な科目形態の理解促進のための整備を行う
2. 大学院課程のアントレプレナーシップ科目対応科目における GA の閲覧性向上を行う
3. 学士課程におけるキャリア科目を充実させる
4. 学外での学びに対しての単位認定制度の拡充を行う
5. 学士課程の専門科目での問題解決型学習の強化を行う

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

2028 年度以降のカリキュラムにおいては、200 番台に本学のアントレプレナーシップ教育を俯瞰できるような授業科目を設置する予定。

##### 【提言 2 について】

対応科目は各コースに設置しているため、学院や ICT 担当部署に必要な応じ協力をお願いする。なお現在、旧キャリア科目の流れをくむ GA をそのまま適用しているために、不都合が生じる部分があり、GA 制度そのものを見直す予定。

##### 【提言 3 について】

2025 年度より、200 番台に「ENT. C261 将来のキャリアを考えるためのロールモデル理解」を開講した。今後も必要に応じ充実させる方向で検討中。

##### 【提言 4 について】

ENT. B211 「科学・技術・文化・社会とイノベーション 1」を開講した。

この科目は、予め機構により認定されたイベント(機構認定講座)を受講することにより、ポイントをためてもらい、14 ポイントとなったところで 1 単位を付与するという仕組みで運用される。学外のイベントでも予め認定されていれば対象となる。

また、修士課程には ENT. G501 「国際経験実践アドバンスト 1AB」・博士後期課程には ENT. G601 「国際経験実践アドバンスト 1AB 博士」などの科目を開講しており、海外で得られる学びに対して単位を認定している。今後も必要に応じ拡充を検討。

##### 【提言 5 について】

アントレプレナーシップ科目では、問題解決型学習を行うためのワークショップやグル

ープワークをすでに多数取り入れている。専門科目でも、内容によっては取り入れていただきたいと考える。

## 提言 2-2 大学院での英語開講科目受講に向けた、学士課程での英語能力向上を目的としたカリキュラムの設置と英語科目のカリキュラム改善

### 提言

1. 各系の必修科目、選択必修科目などの履修カリキュラムに組み込む（現状の 2 段階クラス編成を見直し、習熟度に応じたより細分化されたクラス分けを行う、英語を苦手とする学生に対しても、適切なレベルで学修を進められる支援体制を整える）
2. 英語科目の必修科目における専用教科書を作成する（教科書の作成により、カリキュラム全体の一貫性を確保するとともに、すべての学生が統一された学修目標に沿って着実に英語力を向上させる環境を整える。また、その内容を本学理工学系の学生が習得すべき英語能力に即したものにする。）

### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

##### ・教務課回答

教育本部内の専門の WG で、各系に授業科目を通じた英語学習も含めた英語力向上に向けた施策を検討しました。検討された施策は適宜、各系において実施されております。

##### ・ILA 回答

英語必修科目では、現在、英語第三から第八の Listening/Speaking 科目において advanced と一般の 2 つのレベルに分けたクラス編成をしていますが、2028 年度からの実施を予定している新カリキュラムに向けてさらに習熟度別クラス編成を進めることを現在検討中です。英語を苦手とする学生には随時外国語学修相談室で相談に応じていますが、新カリキュラムでは習熟度に応じたクラスで学ぶことが可能になるようなクラス編成や、リメディアル的な選択科目の新設等の検討を進めているところです。

#### 【提言 2 について】

学生の学習特性はそれぞれに異なり、同一の教授内容や教授法が一律にすべての学生に同様の効果をあげるわけではありません。また言語運用は一律に教えられる言語知識だけでなく、コミュニケーションスキルや異文化理解、学修のモチベーションの獲得など、多様な要素から構成されています。教授内容や教授法の多様性を担保することで、学生が複数の教員や多様なコンテンツに出会い、自らにあう学習方法を見つけられる可能性が高まると

考えます。統一教科書はこの多様性を制限する可能性があるため、現時点では検討していません。ですが、新カリキュラムでは、国際意識を醸成し英語運用能力を高めるために、すべての必修クラスで必ず教える事項を学期ごとに定め、教員間で共有し、統一された学修目標に沿って着実に英語力を伸ばすことができるようにすることを検討中です。

### 提言 2-3 他キャンパスで開講されている授業をより履修しやすくするための環境整備

#### 提言

1. 医師理工融合プログラム科目における、より多くの学生が幅広く講義を受講できるような、理工学系講義のライブ・ハイフレックス講義形式の拡充
2. 社会人学生や開講キャンパス以外のキャンパスに所属する学生が希望する講義を可能にする、教養科目やデータサイエンス・AI 全学教育プログラムなどについてもライブ・ハイフレックス形式の拡充

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

オンライン教育について、対面での学びと同等以上の教育効果がある場合や、対面での学びに比して場所・時間を問わないことによる代えがたい学びの機会が得られる場合には、適切な質保証の元で実施いただくことを推奨しております。また、多くの先生方にライブ型・ハイフレックス型の導入を検討いただけるよう、オンライン教育のガイドラインの改訂を予定しています。

##### 【提言 2 について】

上述のとおりです。

### 提言 3-1 生協食堂の価格およびメニューに関する要望

#### 提言

1. 生協食堂のメニューに関して、揚げ物や肉以外の主菜を増やし、メイン料理で栄養バランスがとれるようにする
2. 一品おかずとごはん・味噌汁・小鉢を組み合わせると 500 円や 700 円に収まる組み合わせ例を複数考案し、生協食堂の注文コーナーへのポップ掲示などの形で提示する
3. ハラル、ビーガン、ベジタリアン対応のメニューを拡充し、対応の程度を明記する

## 対応策・実施方法

### 【提言1について】

学勢調査でのご要望・提言や生協が実施する食堂利用者アンケート、学生生活実態調査等  
でのご意見は大学生協グループのメニュー開発担当にもフィードバックし、メニュー開発  
の参考にさせていただいております。

### 【提言2について】

主食に主菜、副菜、汁物を組み合わせる食べ方は様々な栄養素をバランスよく摂れるため、  
生協食堂のメニュー構成でも大事にしている考え方です。

つばめテラスでは安価でボリュームなメニューと好きな惣菜を取り合わせられるサラ  
ダバー、第二食堂・すずかけ台食堂ではライス・汁物・おかず・惣菜小鉢を取り合わせて700  
円程度でお食事いただけるようなメニューを中心にメニューを構成しております。

組み合わせ例の内容や提供方法は今後検討してまいります。

### 【提言3について】

Vegan につきましては、食材の調達過程で原材料の原料を追跡することが難しいことや、  
Vegan に対する解釈の違いにより対応内容の理解に誤解が生じる恐れがあることから、食堂  
では取り扱わないものとしております。

(原材料の原料が追跡できない例：野菜生産時の堆肥の使用原料、砂糖を精製する過程での  
骨炭の使用有無、など)

Halal&Vegetarian の対応基準は、学内団体とも協議を重ねながら分かりやすい情報提供  
とその周知に努めてまいります。

なお、対応基準に則って提供しているメニューには、店頭メニューカードにて推奨マー  
クを表記しております。

Halal&Vegetarian 推奨(対応)メニューでは対応基準に基づき、専用の認証済み食材を  
使用することがあります。

そのため、食材の仕入価格やメニューの提供価格が比較的高くなる場合や、メニューの提  
供数によっては食材の調達・使用自体が困難な場合があります。

また、使用できる厨房機器やスペースに制約があり、オペレーション上提供が難しいこと  
もあります。

今後も提供を継続していくためにも、ムスリムやベジタリアン以外の方々にもぜひHalal  
&Vegetarian 推奨(対応)メニューをご利用いただけましたら幸いです。

## 提言3-2 大岡山キャンパスのキッチンカーの配置変更

### 提言

1. 現在本館横に設定されているキッチンカーの配置を大岡山南地区および北地区に変更

する

#### 対応策・実施方法

##### 【提言1について】

本館横の設置数の変更も含め、南地区及び北地区への変更が可能であるかを検証するためトライアルを実施するよう、出店業者と検討をしております。

### 提言3-3 体育館アリーナにおけるエアコンの設置

#### 提言

1. 体育館アリーナへのスポットエアコンの導入
2. 体育館アリーナへの送風機導入に加え、アリーナ上部にある窓も学生が開閉できるようにすること
3. 体育館アリーナの天井への遮熱シートの導入

#### 対応策・実施方法

##### 【提言1について】

2025年8月に東京科学大学基金の支援によりスポットクーラーを10台設置しました。

##### 【提言2について】

キャットウォークはメンテナンス専用で施設部職員および施工業者のみ立入を許可されています。手すりが低く、幅も狭いので、高所からの転落を防ぐため、学生は立ち入りできません。方針に変更はありません。

##### 【提言3について】

施設部に導入効果や施工方法を相談予定ですが、2025年度内に実施予定はありません。2026年度以降については未定です。

### 提言3-4 飲料水確保のための給水機設置

#### 提言

1. 大岡山キャンパスの理工学系の学生が日常的に立ち寄る場所に給水機を設置する

#### 対応策・実施方法

##### 【提言1について】

理工学系学友会に給水器設置について相談しており、継続して検討します。

## 提言 3-5 フリースペースの周知、拡充

### 提言

1. つばめテラスの学生ラウンジ利用を活性化させるため、つばめテラスが会話をしながら勉強をすることが可能な場所であることの周知を行う
2. 周知によって Taki Plaza からつばめテラスに学生を分散させた後、期末試験期間および試験前 1 週間程度は、学生が話し合いながら勉強できる場所を確保するため、以下の対応をとる
  - ・つばめテラスの学生ラウンジ利用時間の延長
  - ・講義室の追加開放による、グループ学修可能な自習室の拡充

### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

Slack や在学生向け WEB サイトでの周知を検討します。

#### 【提言 2 について】

つばめテラス学生ラウンジの利用時間の延長については、試験期間中の延長について理工学系学友会に相談しています。また、自習室につきましては、既に以下 WEB ページに記載のとおり一部を開放しています。既存の講義室の中で自習室に適した講義室があるかを引き続き検討いたします。

自習・グループ学修室

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/study-room>

## 提言 3-6 田町キャンパスの環境改善

### 提言

1. 田町キャンパス内に自習やグループワークを目的として利用できるフリースペースを整備する

### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

現在、CIC701 はグループワーク用に使用することが可能で、土曜日は事務員がいる間は鍵が開いており、平日は鍵を事務室で借りることができる。さらに利便性を向上させるために、電子錠への変更やレイアウトの変更を検討中である。

### 提言 3-7 生協の営業時間の延長

#### 提言

1. 大岡山購買書籍部および、大岡山西 5 号館ショップの営業時間を 17 時 30 分まで延長

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

購買書籍部については、規模が大きくコストもかかるため、営業時間の延長は現在予定していませんが、大岡山西 5 号館ショップの営業時間の延長について、テスト導入を予定しています。

### 提言 3-8 夏季の大岡山図書館学習棟の利用に向けた情報公開および対策立案

#### 提言

1. 夏場の学習棟の室温や湿度など詳細な情報を、サイトや SNS で公開する
2. 夏季の学習棟利用に向けて対策立案を実施する

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

2025 年 6 月に理工学系図書館ウェブサイトで公開したお知らせ「学習棟（2 階・3 階）の閉鎖について」で、2024 年 6 月～9 月における学習棟 3 階（中央）の温湿度データを公開しました。来年度以降も同様に公開する予定です。

参考 URL : <https://www.libra.titech.ac.jp/info/news/20250623>

##### 【提言 2 について】

2025 年 7 月に窓際カウンター席の熱源の一因となっている照明を LED に交換しました。現状把握のためデータロガーによる温湿度計測を通年行い、夏季の快適な室温を維持する新たな対策のひとつとして、ガラス壁面への対策を設計者と検討を重ねています。

### 提言 3-9 学内図書施設の連携促進と貸出・返却・検索システムの統合

#### 提言

1. リベラルアーツ図書室と大岡山図書館や、御茶ノ水図書館と大岡山図書館において連携を進め、それぞれのおすすめの本を紹介するコーナーの常時設置することにより、様々な分野の専門書や文庫・小説が本学で利用可能であることを、今までよりも強く発信する
2. 東京科学大学にある図書館（大岡山・すずかけ台・御茶ノ水・国府台など）で、統合し

た図書システムや貸出・返却システムを提供する

## 対応策・実施方法

### 【提言 1 について】

2025 年 4 月の大岡山 DAY 実施にあわせて、大岡山図書館と国府台図書館、リベラルアーツ図書室では、立志プロジェクト課題図書の特設コーナー・展示を設けてご利用いただきました。今後は Web サイトや SNS を活用して、4 図書館(大岡山・すずかけ台・御茶ノ水・国府台)の魅力を発信していく予定です。

2025 年 10 月からは、4 図書館の間で図書の取り寄せ(貸出)・返却サービスを開始しています。興味をひかれる図書を見つけたら、最寄りのキャンパスの図書館へ無料で取り寄せることができますので、ぜひご活用ください。

### 【提言 2 について】

2028 年 1 月に図書館システムを統合し、4 図書館(大岡山・すずかけ台・御茶ノ水・国府台)の蔵書がシームレスに検索できるようになります。

また、日本語の電子ブックも増加しています。全学で利用可能な電子ブックは、理工学系・医歯学系の図書館 Web サイトで公開しているリストからアクセスできるようになっています。

参考 URL :

(理工学系・電子ブックリスト) :

[https://sfx.usaco.co.jp/isct/azbook?param\\_current\\_view\\_value=detail&param\\_perform\\_value=ebook&use=rem\\_j&lang=&lang=](https://sfx.usaco.co.jp/isct/azbook?param_current_view_value=detail&param_perform_value=ebook&use=rem_j&lang=&lang=)

(医歯学系・電子資料タイトルリスト) :

<https://bl3bd7tc7s.search.serialssolutions.com/ejp/?libHash=BL3BD7TC7S#/?language=ja&titleType=ALL>

## 提言 4-1 理工学系全構成員を対象としたハラスメント研修プログラム強化

### 提言

1. 学内(理工学系)でのハラスメント研修について、特に理工学系の教職員および学生の受講を必須にする。オンデマンド形式の映像配信型講義を複数本用意し、講義視聴後にランダムで確認テストが複数問出題される形式を取る。確認テストで満点を取ればハラスメント研修の受講を修了したと認定されるような仕組みを構築する。
2. 「ハラスメントが行われている場面に遭遇した際、被害の拡大を防ぐにはどうすればよいか」ということにもハラスメント研修の中でフォーカスする。
3. 数年に 1 度、匿名アンケートなどによる現状把握を行い、ハラスメント研修内容の更

新を行う。

#### 対応策・実施方法

##### 【提言1について】

旧医科歯科大では全教職員を対象にハラスメント研修を必修（学生は任意）とし、視聴後の確認テストやアンケートも同時に実施して次回の参考にしてきたこともあり、これを理工学系を含めた科学大全体で実施できるよう検討しています。

講義内容についても、提言でいただいた意見を盛り込むよう参考とさせていただきます。

##### 【提言2について】

上述のとおりです。

##### 【提言3について】

上述のとおりです。

#### 提言4-2 留学に関する現状と促進のための提言

##### 提言

1. 経済的負担の軽減のための施策実施
  - (ア) 給付型奨学金の増額や新設
  - (イ) 円安や物価上昇に対応した柔軟な支援
  - (ウ) 留学費用や奨学金の情報提供の充実
2. 語学力による障壁の克服のための施策実施
  - (ア) 英会話や日常英語に特化した授業の開設
  - (イ) 語学力を高めるプログラムや機会の提供
  - (ウ) 留学に必要な語学力の具体的基準提示
3. 情報提供不足の解消のための施策実施
  - (ア) 留学プログラムや手続きの詳細な案内
  - (イ) 体験談や成功事例を共有するイベントの実施
4. 柔軟性のある制度の拡充のための施策実施
  - (ア) 短期留学プログラムの充実
  - (イ) 単位互換や在学年数延長への配慮
  - (ウ) フレキシブルなカリキュラム編成
  - (エ) 新プログラムの増設

#### 対応策・実施方法

### 【提言 1 について】

留学に関する奨学金のうち、給付型奨学金について、大きく分けて以下の 2 種類があります。

1. 大学への寄付からなる基金から支給するもの
2. JASSO などの国が行っているもの

1 については引き続き大学へ増額要望を行っていきます。

現在のところ、100 年基金奨学金、三原正一海外留学支援奨学金、Rajarakshmi 海外留学支援奨学金、Tazaki 財団英国留学支援奨学金 などの寄付に基づく基金奨学金を提供しています。継続的に支援をいただけるよう、引き続き要望を行ってまいります。

2 につきましても、長年増額要望を行っておりましたが、2025 年度から増額されました。例えばヨーロッパ渡航の JASSO 奨学金は月額 8 万円から 11 万円に増加しました。

<以下は留学の有無を問わない奨学金についての補足情報です（経済支援 G）>

➤大学独自の奨学金は寄付者の基金のため、東京科学大学基金からの支援増額を要望中ですが現状難しいところですが、新規の基金奨学金は 2026 年度進学者向けの予約採用で 1 件新設されました（スパイラックス・サーコ奨学金）。2026 年度在学採用においても新たな基金奨学金が新設される見込みです。また、多田記念奨学金では、2025 年度から支給額を増額（3 万円→5 万円）し、応募資格の収入制限も撤廃されました。

➤また、比較的幅広く採用される JASSO 貸与奨学金は第一種（無利子）と第二種（有利子）があり、特に第二種はより幅広い世帯の学生が受けられます。

貸与型かつ有利子の第二種奨学金であったとしても「他のローンよりもずっと良心的な低利子」「お金の用途が他に立てば、最後まで借り続けなくて途中からは辞退もできる」などの利点があります。

実際に JASSO 貸与奨学金を早めに申請して留学費用を確保しつつ、より有利な奨学金を探す先輩方もいらっしゃいます。

### 【提言 2 について】

英会話や日常英語に特化した授業については、リベラルアーツ研究教育院の外国語セッションで実施しており、留学準備、英語試験対策等の授業を充実させていると伺っています。同じく外国語セッションで実施している、日常英会話を向上させる English Café 等に参加してください。

語学力を高めるプログラムについては、TASTE 短期語学学習として学内では募集しており、主に英語圏の大学を中心に提供しており、円安・物価高ですが近年応募者が増加しており、学生からも好評です。

例えば、TASTE 短期語学学習では、参加の語学力として、TOEIC 500、TOEFL ITP 470、TOEFL iBT 51、IELTS 5.5、EF SET B1 を提示しています。各プログラムごとに参加条件の語学力は異なっておりますが、具体的に基準を提示しています。

#### 【提言 3 について】

留学の手続きについては以下のページや、留学のてびきをご覧ください。

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/procedures>

<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/pdf/06560788b42c15c9d2827eb95d0ee5f9.pdf>

また、Taki Plaza の地下 1 階で留学相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

イベントについては、大きなものと 4 月に Taki Plaza で、10 月にオンラインの留学イベントを行っています。その他にも随時説明会や留学体験談の報告イベント等行っています。

#### 【提言 4 について】

単位互換、在学年数の延長、ならびにカリキュラムについては、留学を行ううえでの障壁になり得るものと認識しております。ただし、各系・コースごとのカリキュラムに依存する事項であるため、一律にお答えすることは難しいです。現在、統合後のカリキュラムについて調整検討が進められておりますので、今後適切なタイミングにて、何らかの配慮を学院・系に依頼したいと思います。

また、短期留学プログラムや新規プログラムにつきましては、拡充を進めることが難しい面がございますが、既存の TASTE 語学学習プログラムや、協定校シーズンプログラムなどの短期プログラムについては、昨年度より参加者が 20% 増え、新たなプログラムを増やさずとも、既存のプログラムでの人気が高まっています。また、例えばアントレプレナーシップ教育機構においては、新プログラムの開発や増設が行われております。

### 提言 4-3 公欠制度の改善

#### 提言

1. 感染症拡大防止のために公欠制度を改善すること
2. 次の場合に対して、公欠制度の適用範囲を拡大すること
  - (1) 病気・心身の不調（高熱、持病・怪我、入院、精神的不調）
  - (2) 家庭の事情（家族の看病・入院対応）
  - (3) 大学の教育・研究活動に関わる行事への参加（学会、サークル上位大会）

(4) 社会的に不可避な活動（就活、奨学金面接、成人式）

### 3. 公欠申請手続きをオンライン化すること

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

公欠制度の運用において理工学系と医歯学系との間に異なる運用がされていることは認識しております。学内で統一した運用とするため、「東京科学大学における公欠の制度に関する要項」の改正を進める予定です。

##### 【提言 2 について】

(1)については、上述のとおり、医歯学系とは異なる運用がなされている現状を改めるための規則改正を進める予定としています。

(2)～(4)については、公欠制度の目的である「感染症拡大防止」や「本人に起因せずかつ欠席を回避することが極めて難しい事由」には当たらないと考えます。ただし、公欠事由に当たらない欠席の場合であっても、授業担当教員の判断により欠席扱いとはしない等の特別の配慮ができるように規則に定めています。（東京科学大学における公欠の制度に関する要項第 8 条第 2 項）

##### 【提言 3 について】

成績評価に大きな影響を与える公欠制度の運用において、その適格性を判断するために公欠事由を公欠届の記載内容や証憑書類等で確認しなければなりません。また公欠はタイムリーな対応が必要ですが、システム化によって、記載間違いや書類不備などへの対応を即時に行うことが困難になる懸念もあります。ただし、公欠届の作成など手続きのうえで煩雑と思われる点については、解消に向けて方策を検討していきます。

#### 提言 4-4 教育システムの改善要求

##### 提言

1. Slack について、学生の意見を取り入れた開発を行うために学内情報システムに関する RA を雇用すること
2. OCW について、トップページの改善と検索機能の改善を行うこと。また、オリエンテーション動画などによってシラバス内容を学生にとってわかりやすいものにする
3. T2SCHOLA について、講義の教室情報と講義開始時刻を掲載すること

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

ご意見につきまして検討をいたします。

なお、2025/9/18 より Slack AI をプレオープンしており、チャンネルの要約・スレッドの要約、AI ハドル議事録の機能が使えますので、ご利用ください。

(参考 : Slack AI プレオープン)

<https://science-tokyo.enterprise.slack.com/docs/T01ABJG6R0X/F09CXKWEAJX>

また、#st-slackbox-guidance 虎の巻-情報基盤課にて Slack・Box の新機能や便利な使い方などを紹介しておりますので、ご覧ください。

Slack の利活用についてご意見等がございましたら #help-学生 slack-情報基盤課にご投稿ください。

#### 【提言 2 について】

2025 年度に、理工学系シラバスは「OCW」から、「Science Tokyo シラバス」にリニューアルしました。「Science Tokyo シラバス」では動作スピードが向上し、以前より要望のあった検索機能のデフォルトについても「講義名検索」に設定するなどの改善を行いました。

また、オリエンテーション動画を提供するなどの具体的な提案がなされたことについて、教員に共有するとともに、シラバスの内容をより理解していただきやすくする方策を検討してまいります。

なお、授業開始前のシラバス公開については、今後も教員への周知を徹底していきます。

#### 【提言 3 について】

ダッシュボードの時間割に追加して表示することについて、改修費用が発生する（特に講義室情報は大規模改修となります）ため、今後の検討課題とさせていただきます。改修までは、大学 Web サイト等の情報もご覧いただきながら、確認するようにしてください。

## 提言 4-5 Slack を活用した新入生向け相談窓口の設置

### 提言

1. Slack のワークフローを用いた期間限定の新入生、編入生、留学生向け相談窓口の設置  
および相談内容の公開

### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

・現在、Slack および Box といった、学生生活を送る上で必要不可欠なシステムについては、専用のチャンネルを設けて対応しています。

・Slack のワークフローについては、学内での利用説明会や事例紹介等を通じて、各種申請

への活用促進を進めております。

・なお、学生支援に関しては、学修コンシェルジュやピアサポーター等の既存制度があるため、これまでの知見を活かしつつ、これら既存制度との役割分担を踏まえ、Slack の相談窓口拡大について検討していきたいと考えています。

(参考)

#### 【Slack・box の help チャンネル】

・チャンネル名：#help-学生 slack-情報基盤課

アドレス：<https://science-tokyo.enterprise.slack.com/archives/C07CDCSPW4F>

・チャンネル名：#help-学生 box-情報基盤課

アドレス：<https://science-tokyo.enterprise.slack.com/archives/C07CDCULK7Z>

## 提言 4-6 防災訓練の参加促進

### 提言

1. 告知に用いるツールと内容の両面から、防災訓練の周知を強化する
2. 防災訓練を学生が参加しやすい日時に設定し、全員で行う訓練だという意識を学内で共有する
3. 非常食配布の周知を進めるとともに、学生にとってより魅力的な参加特典を検討する
4. 防災訓練以外の面でも学生の防災意識を高める

### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

キャンパスミーティングでの意見を踏まえ、令和 7 年度の防災訓練の案内については、例年の周知方法（スラック通知、HP での情報発信、ポスター掲示）に加え、下記について新たに実施しました。

- ・ポスターの工夫
- ・生協食堂内へのポップアップの設置
- ・全研究室へのチラシ配布
- ・近隣自治体への回覧板による回覧依頼

来年度は、更なる参加促進のため、正門付近でのチラシ配布、個別訓練により参加しやすいような実施場所を検討します。

#### 【提言 2 について】

例年通りとなりますが、授業がない水曜日の午後としております。令和 8 年は 11 月 11 日

(水) に実施を予定しております。

#### 【提言 3 について】

キャンパスミーティングでの意見を踏まえ、令和 7 年度は、例年実施している非常食の配布に加え、生協食堂で使用できる小鉢の無料クーポンを配布しました。来年度は、クーポンの内容について再検討します。

#### 【提言 4 について】

防災訓練以外の面でも学生の防災意識を高める活動は既に実施しています。例えば、防災教育をあまり受けてこなかった留学生が弱者にならないよう、GSEP の立志プロジェクトに防災教育の回を設けています。また、日本語・英語・やさしい日本語を使用して防災について共に学ぶ防災ワークショップを、リベラルアーツ研究教育院主催で開催しています。

立志プロジェクトに震災に遭われた方の話を直接聞く回を設けることなど、具体的な授業内容については、ご意見を伺ったうえで、ワーキンググループで検討していくこととなります。

### 提言 5-1 DE&I に関する講義の必修化

#### 提言

1. 2025 年度から立志プロジェクトの 1 テーマとしてとして扱うこととなった DE&I について、以降も継続的に扱う
2. 200 番台、300 番台の選択科目での DE&I に関する授業の設置を目指す

#### 対応策・実施方法

#### 【提言 1 について】

DE&I は重要なテーマと考えており、以降も継続的に扱う予定です。

#### 【提言 2 について】

リベラルアーツ研究教育院は、文系教養科目において 100 番台と 400 番台に DE&I に関する科目を提供しています。200 番台と 300 番台での授業設置については、担当教員確保や予算措置等を含めて検討しております。

### 提言 5-2 対象者を拡大したリフレッシュスペースの設置

#### 提言

1. 女性専用リフレッシュスペースについて、学内から幅広く意見を集める
2. 男性が利用可能なリフレッシュスペースを新設する

## 対応策・実施方法

### 【提言 1 について】

これまで、妊娠期・出産後・月経期・女性特有の病気・病状等による体調不良時の一時的な休養、及び授乳・搾乳といった女性特有のニーズへの対応のため、女性休養室の整備を図ってきております。また、現在大岡山キャンパスにある女性専用リフレッシュスペースについては、東京工業大学基金（当時）の環境整備における寄附事業により整備されたもので、寄附者のご意向を踏まえたものとなっております点をご理解をいただきたいと考えております。

一方で提言に記載のあるリフレッシュスペースについては、各部局にて設置・管理されており、当課でも全てを把握できていない状況です。これについては、提言内容を各部局へ周知したいと思っております。

また、休養室については、各部局宛にニーズ等を含めた調査を行っております。調査結果を踏まえ、支援を行っていく予定です。

### 【提言 2 について】

既に設置している 5 室に加え、学勢調査での意見を踏まえ、2025 年 8 月に新たに男性休養室 1 室を設置したほか、既設の女性休養室 1 室を男女兼用とするなどの対応を行いました。

さらなる男性休養室の新設対応については、インフラ本部に向けて要望をしておりますが、現在、スペースの逼迫につき、新たな要望を停止している状況です。

こうしたことから、現在、各部局にて管理している部屋を休養室に整備ができないか、部局宛にニーズ等を含めた調査を行っております。調査結果を踏まえ、支援を行っていく予定です。また、新たな要望の受付が再開されましたら、引き続き新規設置に向け要望をしております。

一方で提言に記載のあるリフレッシュスペースについては、各部局にて設置・管理されており、当課でも全てを把握できていない状況です。これについては、提言内容を各部局へ周知したいと思っております。

## 提言 5-3 入試改革目標の明確化

### 提言

1. 女子枠設置を通じた女子学生の割合向上や男女格差の是正における具体的な目標を設定し、公開する
2. 女子枠を特別措置と考え、目標達成までのロードマップを作成し、公開する

## 対応策・実施方法

### 【提言 1 について】

令和 6 年度に理学院・工学院を除く 4 学院の総合型・学校推薦型選抜にて女子枠を導入し、女子の割合が向上した。さらに令和 7 年度には理学院・工学院を含めた全学院の総合型・学校推薦型選抜において女子枠を導入し、さらに女子の割合が増えた。

女子入学者数の割合

令和 5 年度（導入前）：10.7%

令和 6 年度（導入 1 年目）：15.3%

令和 7 年度（導入 2 年目）：22.0%

なお、目標数値等を公開することは考えていない。

#### 【提言 2 について】

女子枠導入後、一定の割合まで女子が増えた後に廃止する予定である。ロードマップは現時点では予測が立てられないため、今後の検討課題としたい。

### 提言 6-1 「すずかけ」名称の継続的な使用

#### 提言

1. すずかけ台キャンパスから横浜キャンパスへの名称変更後も、キャンパス内での施設名やイベント名には「すずかけ」の名称をできる限り残す方向で検討を進める

#### 対応策・実施方法

##### 【提言 1 について】

##### 【「すずかけ」の名称を残す施設について】

- ・「すずかけ台図書館」

「横浜図書館」と名称変更した場合、既存の横浜市立図書館等と混同される恐れがある。一方で、「すずかけ台」を名前に含む図書館は、近隣の公共図書館及び大学図書館に存在しないことから、「すずかけ台図書館」のままとすることとしている。

- ・「すずかけ台学生会館」、「すずかけホール」、「すずかけ台ハウス」

これらの名称を変更した場合も、学外他施設との混同が懸念される。加えて、これらの名称はすずかけ台地区の教職員に浸透し、かつ愛着あるものとなっており、その点も大いに尊重されうるため、いずれの施設もすずかけの名称は残すこととしている。

##### 【「すずかけ」の名称を残すイベント名について】

- ・「すずかけサイエンスデイ」

1979 年から始まった「すずかけ祭」を、2019 年に「すずかけサイエンスデイ」へ改称して毎年 5 月に開催している。キャンパス名変更後も、これまでの伝統を重視し、「すずかけサイエンスデイ」として開催することが決定している。

##### 【その他】

- ・「すずかけ池」

キャンパス中央に位置する「調整池」について、2025年4月～同年5月に全学公募で名称を募集した結果、キャンパス名変更後も、地域の方々からにも親しまれている「すずかけ」という言葉やこれまでの伝統を残したいという理由から「すずかけ池」に名称が決定した。

## 提言6-2 大学執行部との対話機会の設置

### 提言

1. 学生に対してもタウンホールミーティングを実施する
2. Q&A形式以外の実施形式の導入とともに、参加対象、テーマの工夫をすることで、より多くの学生が参加できるようにする
3. 参加を希望する全学生がタウンホールミーティングに参加できることを目標とし、開催時間帯、開催場所の需要を調査しつつ、複数回実施する

### 対応策・実施方法

#### 【提言1について】

大岡山キャンパス、湯島キャンパス、すずかけ台キャンパスにて学生向けのタウンホールミーティングを実施した。今後も引き続き実施予定である。

#### 【提言2について】

学生の関心を高めるため、事前にアンケートを実施して事前質問を収集した他、実施後にも事後アンケートを実施して、その後の開催に役立てる工夫を行った。

タウンホールミーティングのテーマは、国際卓越研究大学の構想に加えて、大学生活に関する質問など、幅広い内容を設定し、活発に意見交換できるような場を提供した。

特に、大岡山キャンパスでの開催回では、アテネオリンピック金メダリストの室伏広治副学長が特別ゲストとして参加し、学生との熱心な質疑応答が行われ、大変盛り上がった。今後も引き続き、多様な企画を実施出来ないか検討予定である。

#### 【提言3について】

多くの学生が参加できるように3つのキャンパスで実施した。さらに、夏休みの期間を避け、なるべく授業やサークル活動の時間となるべく被らないように日程を調整した。今後も引き続き、同様の開催方式を継続出来ないか検討予定である。